

大学連携講座の受講対象の拡大

拡充

○ 教科の専門研修講座として対象を拡大

- ・ 全教員がすべての大学連携講座を受講可能
- ・ 連携講座を中学校へ拡大
平成18年度開講教科
中学校 国語科、数学科、保健体育科、技術・家庭科（技術分野、家庭分野）
高等学校 国語科、数学科、保健体育科、芸術科書道、家庭科、工業科

○ 「領域」分野での新設

新規

- ・ 小学校学級経営研究講座、中学校学級経営研究講座、教育課程研究講座

特別支援教育の推進

特別支援教育の理解の徹底を図るため、全校種の全教員を対象に研修講座を実施します。特に特別支援教育コーディネーターは校内支援体制の要であり、演習等を通してコーディネートする力の向上を図ります。

○ 全校種の全教員を対象にした特別支援教育の理解の徹底

- 小・特別支援教育基礎講座 中・高特別支援教育基礎講座 校長講座 保育技術専門講座 等
- ・ 通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒への支援の在り方と、一人一人に応じた具体的な支援方法の理解

○ 盲・聾・養護学校の若手教員の実践的指導力を育成

- 盲・聾・養護学校授業実践演習講座 自閉症の特性等に応じた指導講座 等
- ・ 模擬授業や演習等を通じた専門性、授業実践力の伸長

○ 専門性の向上

- LD、ADHD等研究講座 自閉症等指導研究講座 心理検査研究講座
- ・ LD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒に対する指導・支援等の専門性の向上
- ・ 心理検査結果をアセスメントに生かした個別の指導計画を作成する力量の向上

○ 特別支援教育コーディネーターの養成

- 特別支援教育コーディネーター養成「LD、ADHD等」講座
同「アセスメント」講座
同「支援体制」講座
特別支援教育コーディネータースキルアップ講座（各教育局管内で実施）
- ・ 受講対象を幼稚園、高等学校に拡大
- ・ 通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒への支援事例をもとに、コーディネート力を向上

「授業実践力」を中心とした実践的指導力の向上

「授業実践力」は、授業計画から発問や板書の仕方などの授業技術、授業を通して児童生徒の理解やコミュニケーション、学習評価や授業研究まで、授業にかかわるあらゆる知識技能等の総体だと考えられます。センターでは、講座体系を通して「授業実践力」を位置付け、講座の充実を図っています。

初任者・新規採用者研修講座

- ・全受講者による模擬授業の実施
- ・経験豊富な教諭の授業参観を通じた指導法等の習得
- ・学級児童生徒の好ましい人間関係を育てる学級経営の在り方の理解

教職経験2～5年目研修講座

- ・「授業実践演習講座」での演習や模擬授業を通じた「授業実践力」の育成
- ・「教育課程基礎講座」でのカリキュラムマネジメントの基礎的な理解

専門研修講座

- ・教科の「授業実践研究講座」での演習等による「授業実践力」の育成
- ・教科の『「授業実践力」向上講座』での実技・実習技能の向上と効果的な指導
- ・大学連携「教科教育」研究講座Ⅱでの授業づくり等にかかわる専門的内容の充実

指導者養成講座

- ・「授業実践指導者養成特別講座」での授業分析・授業評価の研究と授業研究等校内研修の活性化
- ・「IT推進指導者養成特別講座」でのITを活用した授業づくりの推進

ITを活用した新しい研修システムの導入

英語eラーニングの導入

— 英語科担当教員の英語力の向上（府立学校対象） —

生徒の英語による実践的コミュニケーション能力を育成するために、指導者のリスニングやリーディング（速読）等の力量向上が求められています。英語eラーニングは、利用者が勤務校（府立学校）から京都みらいネットに接続されたパソコンで遠隔研修ができるシステムです。

特長

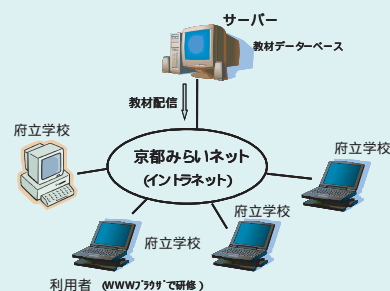
- ・勤務校で、いつでも利用者のペースで研修できます。
- ・利用者個々のレベルに応じた研修内容が用意されています。
- ・利用者自身が進捗状況や理解の程度を把握することができます。
- ・理解できるまで、同じ教材で繰り返し研修することができます。
- ・TOEICのミニ模擬テストを受けて、客観的な状況を知ることができます。
- ・希望により、センターの英語指導助手の添削が受けられます。

研修内容

- ・レベル診断テスト
- ・リスニング力強化コース 50ユニットから選択
- ・リーディング力強化コース 50ユニットから選択
- ・TOEICテスト演習コース 10ユニットから選択

申込み

3月20日(月)からITECで受け付けています。



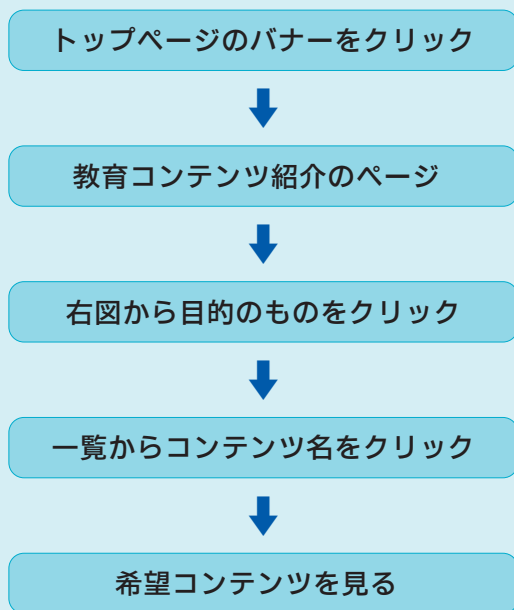
ITEC教育コンテンツの紹介

教育コンテンツが
探しやすくなりました



バナー

ITECのトップページに「教育コンテンツナビゲーター」というバナー（見出し画像）を設定しました。



- ・新設したコンテンツ群
 - 国語力アップ広場
 - 小学校理科ものづくり
- ・その他のコンテンツ群にも、新しいコンテンツを追加、掲載しています。（**NEW**と表示しています。）



ITECのトップページ



教育コンテンツ紹介のページ

平成17年度の研究事業について

センターでは、平成17年度研究事業として下記のテーマで研究を進め、研究協力員の協力により、まとめることができました。今後、教育コンテンツとしてITECに掲載しますので、御覧いただき教育実践に役立ててください。

テーマ	「学びの基盤としての読解力をはぐくむ学習指導」
主な内容	学力の基盤としての読解力に焦点を当て、その育成の道すじと国語科や他の教科、「総合的な学習の時間」における指導方法の在り方を研究
テーマ	「地域や学校における特別支援教育体制の充実」
主な内容	通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童への支援事例を収集して、児童個々の具体的な支援方策及び学校での支援体制の在り方を研究
テーマ	「不登校の未然防止と学校教育相談体制の充実」
主な内容	不登校の早期発見、早期対応についての先進的な実践事例をもとに、不登校を未然に防止し、的確に対応する組織的な教育相談の在り方を研究
テーマ	「実験実技実習教科における教材・教具の工夫と授業改善」
主な内容	実験実技実習教科における授業に役立つコンテンツの研究開発

センターでは、教職員の資質能力の向上に向け、講座の体系的整備や参加体験型研修の拡充など、より質の高い魅力ある研修講座となるよう、その充実に努めています。研修講座等に関する御意見、御要望をお寄せください。

府立学校教職員のための電話相談窓口 (075) 612-3048

セクシュアル・ハラスメントに係る相談窓口・教育実践に係る相談窓口
木曜日 午後1時から午後7時まで（祝日を除く）

京都府総合教育センター 〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町
TEL (075)612-3266 FAX (075)612-3267
企画教育部 (612-2950) 教職教育部 (612-2952)
特別支援教育部 (612-2953) 教育相談室 (612-2959)
ふれあい・すこやかテレホン(612-3268または3301) 毎日8:30-20:30（祝日を除く）
<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/> E-mail ed-center@kyoto-be.ne.jp

北部研修所 〒623-0012 綾部市川糸町堀ノ内
TEL (0773)43-2934 FAX (0773)43-2935
ふれあい・すこやかテレホン(0773)43-0390 月～金 10:00-19:00（祝日を除く）
E-mail ned-center@kyoto-be.ne.jp